



## 2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月7日

上場会社名 株式会社リンコーコーポレーション 上場取引所 東  
 コード番号 9355 URL <https://www.rinko.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 本間 常悌  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 前山 英人 TEL 025-245-4112  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無：無  
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	3,447	1.9	59	△49.3	156	△22.6	146	2.4
2025年3月期第1四半期	3,383	3.0	117	—	201	96.1	143	△32.5

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 41百万円 (16.8%) 2025年3月期第1四半期 35百万円 (△92.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	56.55	—
2025年3月期第1四半期	56.03	—

(注) 2025年3月期第1四半期の営業利益の対前年同四半期増減率は、1,000%以上となるため「—」と記載しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第1四半期	38,471	17,932	46.6	6,901.75
2025年3月期	38,500	17,981	46.7	6,946.41

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 17,932百万円 2025年3月期 17,981百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	—	—	40.00	40.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	45.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,500	△0.3	390	△17.7	460	△25.4	590	12.0	229.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期1Q	2,700,000株	2025年3月期	2,700,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	101,753株	2025年3月期	111,353株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期1Q	2,593,447株	2025年3月期1Q	2,555,310株

(注) 当社は、株式給付信託 (従業員持株会処分型) を導入しており、期末自己株式数には、株式会社日本カストディ銀行 (信託E口) が保有する当社株式が含まれております。また、株式会社日本カストディ銀行 (信託E口) が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

2025年4月1日から6月30日までの3ヶ月間（以下、当第1四半期）におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善などを背景に緩やかな回復基調が継続しているものの、物価上昇の継続、資源価格の高騰、米国の関税政策の影響、中東情勢の緊迫化等の地政学リスクの高まりなど景気の下振れリスクは払拭されず、依然として先行きは不透明であると認識しております。

このような状況の下、当社企業グループは、主力の運輸部門は、貨物取扱数量が増加し前年同四半期比で増収増益、ホテル事業部門は、設備投資の増加の影響などから前年同四半期比で増収減益となりました。この結果、当第1四半期の売上高は34億4千7百万円（前年同四半期比1.9%の増収）、営業利益は5千9百万円（前年同四半期比49.3%の減益）となりました。また、経常利益につきましては、受取配当金の増加などにより1億5千6百万円（前年同四半期比22.6%の減益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は税金費用の減少などにより1億4千6百万円（前年同四半期比2.4%の増益）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### (運輸部門)

当社企業グループの事業拠点である新潟港の貨物取扱量は前年同四半期比で増加した中、主力である運輸部門の貨物取扱数量は、一般貨物、コンテナ貨物共に前年同四半期比で増加し、134万トン（前年同四半期比1.6%の増加）となりました。

一般貨物は、主要貨物である素材原料について、一部に減少の動きが見られたものの、概ね堅調に推移し、同部門の増収に繋がりました。また、利益面では、物価高や人件費増加などの影響はあるものの経費削減に努め、利益を確保しました。この結果、同部門の売上高は25億6千2百万円（前年同四半期比2.8%の増収）、セグメント利益は2千2百万円（前年同四半期比11.4%の増益）となりました。

#### (不動産部門)

不動産賃貸は堅調に推移しましたが、商品土地の販売がなく、売上高は6千8百万円（前年同四半期比14.5%の減収）、セグメント利益は3千4百万円（前年同四半期比4.1%の増益）となりました。

#### (ホテル事業部門)

2024年11月から始まりました中高層階の客室リニューアル工事が2025年4月に完了し、売上高はその影響を若干受けましたが、各部門とも概ね堅調に推移いたしました。一方、経費面で、客室リニューアル工事に伴い消耗品費などの諸経費が増加した結果、売上高は5億9千万円（前年同四半期比0.3%の増収）、セグメント損失は2百万円（前年同四半期は4千8百万円の利益）となりました。

#### (関連事業部門)

同部門の売上高は前年同四半期並みで推移したものの、機械整備、リサイクル各工場の修繕費などが増加した結果、売上高は2億3千8百万円（前年同四半期比1.6%の増収）、セグメント利益は4百万円（前年同四半期比71.9%の減益）となりました。

### (2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の資産の部は、前連結会計年度末と比べて2千8百万円減少し、384億7千百万円となりました。この減少の主な要因は、流動資産の減少4千9百万円、固定資産の増加2千1百万円であります。

流動資産の減少の主な要因は、現金及び預金、電子記録債権などが増加した一方、受取手形、営業未収入金及び契約資産が減少したことなどによるものであります。また、固定資産の増加の主な要因は、投資有価証券が時価の下落により1億3千6百万円減少した一方、設備投資の増加などにより有形固定資産及び無形固定資産が1億4千5百万円増加したことなどによるものであります。

負債の部は、前連結会計年度末と比べて2千万円増加し、205億3千9百万円となりました。この主な要因は、流動負債の増加1億7千1百万円、固定負債の減少1億5千万円であります。

流動負債の増加の主な要因は、営業外電子記録債務が増加したことなどによるものであります。また、固定負債の減少の主な要因は、社債、繰延税金負債が減少したことなどによるものであります。

純資産の部は、前連結会計年度末に比べて4千9百万円減少し、179億3千2百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金の増加3千8百万円、その他有価証券評価差額金の減少9千5百万円などであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の通期連結業績予想につきましては、2025年7月18日に公表いたしました「(開示事項の経過) 投資有価証券の売却に伴う特別利益の計上に関するお知らせ」に記載の投資有価証券売却益を第2四半期連結会計期間に計上いたしますが、当該特別利益は、2025年5月14日に公表いたしました通期連結業績予想に織り込んでいるため、見直しを行っておりません。今後の業況を注視し、見直しが必要と判断される場合は、速やかに開示いたします。

なお、当社は、当社企業グループのパーパス(会社の存在意義)として掲げた「みなどから今を支え、明日を拓く。」のもと、2023年度において中期経営計画(2024年度から2026年度の3年間)を策定しております。2026年3月期は同計画の2年目にあたりますが、重点課題である「運輸部門の収益基盤の安定と向上」、「自社資産・人材の強みを活かし収益性・効率性を向上」、「事業継続可能な人的資本戦略の実施」に真摯に取り組み、同計画の目標達成を目指して参ります。

(注) 当該予測は現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は予想と異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	381,363	507,035
受取手形、営業未収入金及び契約資産	2,569,609	2,319,236
電子記録債権	274,306	336,787
棚卸資産	195,506	228,292
未収還付法人税等	—	1,380
その他	218,458	196,849
貸倒引当金	△3,924	△3,343
流動資産合計	3,635,319	3,586,239
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	21,105,038	21,294,244
減価償却累計額	△15,392,204	△15,507,124
建物及び構築物(純額)	5,712,834	5,787,120
機械装置及び運搬具	1,898,280	2,028,135
減価償却累計額	△1,651,671	△1,649,448
機械装置及び運搬具(純額)	246,609	378,687
土地	21,940,621	21,940,621
リース資産	624,090	646,872
減価償却累計額	△252,795	△254,121
リース資産(純額)	371,295	392,751
建設仮勘定	300,109	27,002
その他	1,067,229	1,224,974
減価償却累計額	△952,073	△914,735
その他(純額)	115,155	310,239
有形固定資産合計	28,686,626	28,836,423
無形固定資産		
リース資産	33,197	27,961
その他	20,126	20,731
無形固定資産合計	53,323	48,693
投資その他の資産		
投資有価証券	5,667,692	5,530,932
繰延税金資産	148,811	163,536
その他	341,826	339,771
貸倒引当金	△40,533	△40,588
投資その他の資産合計	6,117,797	5,993,653
固定資産合計	34,857,747	34,878,769
繰延資産		
社債発行費	7,443	6,787
繰延資産合計	7,443	6,787
資産合計	38,500,510	38,471,796

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	1,429,189	1,218,881
電子記録債務	124,975	226,750
営業外電子記録債務	1,933	166,045
短期借入金	1,700,000	1,700,000
1年内償還予定の社債	280,000	280,000
1年内返済予定の長期借入金	2,575,658	2,648,420
リース債務	132,924	142,323
未払法人税等	88,645	50,603
賞与引当金	278,385	149,233
その他	698,439	898,996
流動負債合計	7,310,150	7,481,254
固定負債		
社債	610,000	520,000
長期借入金	3,965,301	3,964,961
リース債務	308,338	316,254
繰延税金負債	2,396,949	2,308,945
再評価に係る繰延税金負債	4,749,284	4,749,284
退職給付に係る負債	718,163	739,682
資産除去債務	317,544	318,081
その他	142,972	140,880
固定負債合計	13,208,555	13,058,090
負債合計	20,518,705	20,539,344
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,950,000	1,950,000
資本剰余金	809,241	809,241
利益剰余金	3,262,276	3,301,045
自己株式	△204,238	△186,862
株主資本合計	5,817,279	5,873,424
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,585,242	2,489,673
土地再評価差額金	9,156,175	9,156,175
退職給付に係る調整累計額	423,106	413,179
その他の包括利益累計額合計	12,164,524	12,059,027
純資産合計	17,981,804	17,932,452
負債純資産合計	38,500,510	38,471,796

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	3,383,212	3,447,002
売上原価	2,937,963	3,036,499
売上総利益	445,249	410,502
販売費及び一般管理費	327,649	350,843
営業利益	117,599	59,658
営業外収益		
受取利息	0	13
受取配当金	100,397	120,767
雑収入	5,134	3,947
営業外収益合計	105,532	124,728
営業外費用		
支払利息	18,225	24,933
雑支出	3,092	3,227
営業外費用合計	21,318	28,161
経常利益	201,813	156,225
特別利益		
固定資産売却益	3,777	3,108
特別利益合計	3,777	3,108
特別損失		
固定資産処分損	1,768	9,445
特別損失合計	1,768	9,445
税金等調整前四半期純利益	203,822	149,889
法人税、住民税及び事業税	74,195	57,713
法人税等調整額	△13,550	△54,494
法人税等合計	60,645	3,218
四半期純利益	143,177	146,670
親会社株主に帰属する四半期純利益	143,177	146,670



## (四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	143,177	146,670
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△98,804	△95,569
退職給付に係る調整額	△9,131	△9,927
その他の包括利益合計	△107,936	△105,496
四半期包括利益	35,241	41,173
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	35,241	41,173

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結財務諸表計上額 (注) 2
	運輸部門	不動産部門	ホテル事業 部門	関連事業 部門			
売上高							
運輸事業	2,293,532	—	—	—	2,293,532	—	2,293,532
不動産業	—	13,510	—	—	13,510	—	13,510
機械整備販売業	—	—	—	124,649	124,649	—	124,649
ホテル業	—	—	585,307	—	585,307	—	585,307
その他附帯事業	177,326	—	—	87,747	265,074	—	265,074
その他	11,360	—	—	13,832	25,193	—	25,193
顧客との契約から生じる収益	2,482,220	13,510	585,307	226,229	3,307,267	—	3,307,267
その他の収益	11,159	64,784	—	—	75,944	—	75,944
外部顧客への売上高	2,493,380	78,294	585,307	226,229	3,383,212	—	3,383,212
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	386	1,783	3,035	8,596	13,802	△13,802	—
計	2,493,766	80,078	588,343	234,825	3,397,014	△13,802	3,383,212
セグメント利益	20,456	32,915	48,475	17,524	119,371	△1,771	117,599

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,771千円は、その他の調整額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結財務諸表計上額 (注) 2
	運輸部門	不動産部門	ホテル事業部門	関連事業部門			
売上高							
運輸事業	2,342,571	—	—	—	2,342,571	—	2,342,571
不動産業	—	20	—	—	20	—	20
機械整備販売業	—	—	—	128,573	128,573	—	128,573
ホテル業	—	—	587,359	—	587,359	—	587,359
その他附帯事業	194,825	—	—	89,206	284,031	—	284,031
その他	13,136	—	—	13,498	26,634	—	26,634
顧客との契約から生じる収益	2,550,533	20	587,359	231,277	3,369,190	—	3,369,190
その他の収益	11,158	66,652	—	—	77,811	—	77,811
外部顧客への売上高	2,561,691	66,672	587,359	231,277	3,447,002	—	3,447,002
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,010	1,783	2,883	7,247	12,924	△12,924	—
計	2,562,702	68,456	590,243	238,524	3,459,926	△12,924	3,447,002
セグメント利益又は損失(△)	22,789	34,250	△2,584	4,927	59,382	275	59,658

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額275千円は、その他の調整額であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	177,391千円	199,227千円